

(2) 国内外に打って出る攻めの農林水産戦略（戦略2）について

◆ 国内外に打って出る攻めの農林水産戦略（戦略2）についての総合評価

（質問1-7-2 再掲）

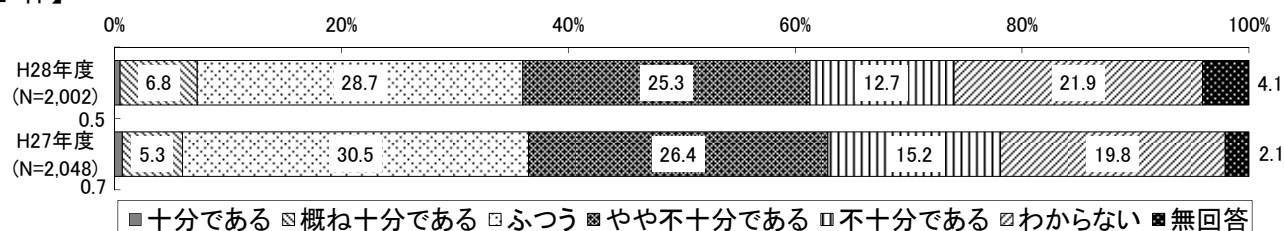
全体では、「十分である」が0.5%、「概ね十分である」が6.8%と非常に少ない。「ふつう」の28.7%を合わせると肯定的に感じている人は36.0%となっている。また、「不十分である」が12.7%、「やや不十分である」が25.3%となり、不十分であると感じている人は38.0%となっている。「わからない」は21.9%となっている。

前年度と大きな変化は見られない。

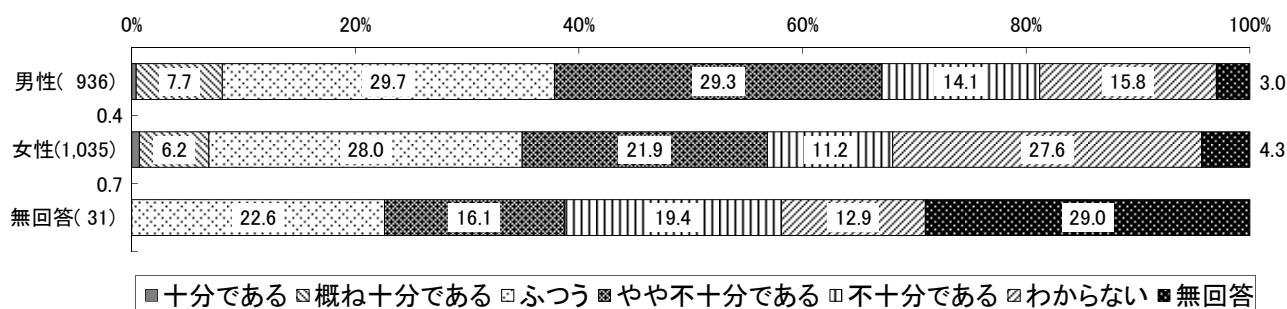
性別では、男性の方が「不十分である」、「やや不十分である」の割合が高くなっている。

年代別では、40歳代～60歳代で、「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が4割を超えており、他の年代に比べ高くなっている。

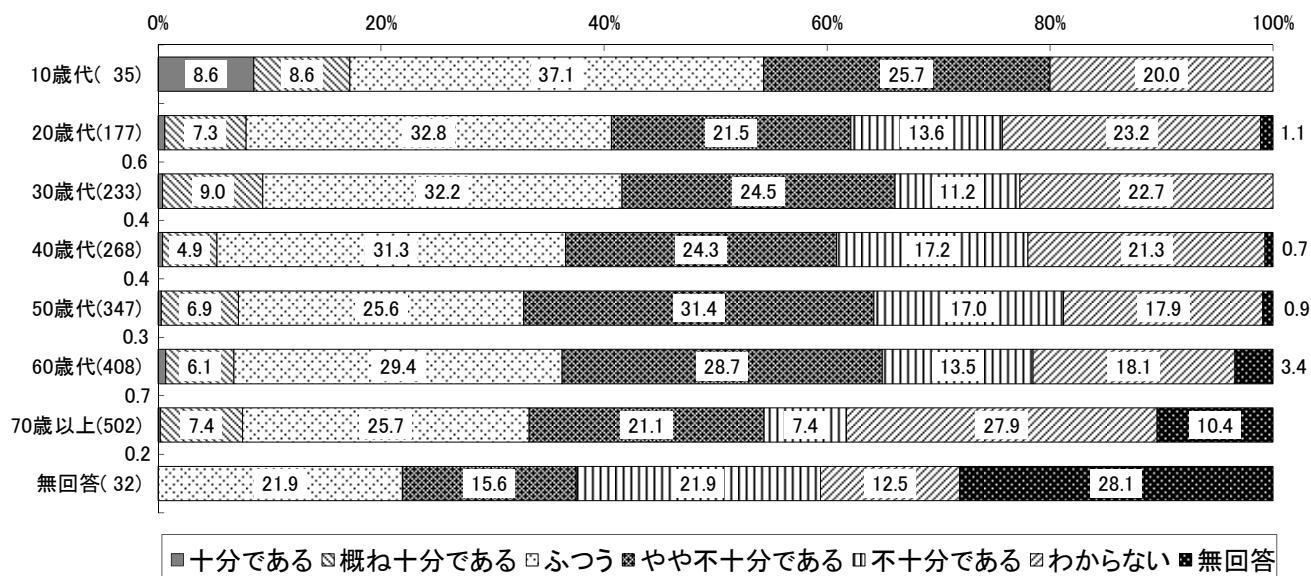
【全体】



【性別】



【年代別】



◆県内における農林水産業の振興に関することについて取組項目毎の評価

ア “オール秋田” で取り組むブランド農業の拡大への取組（質問 1-2-1）

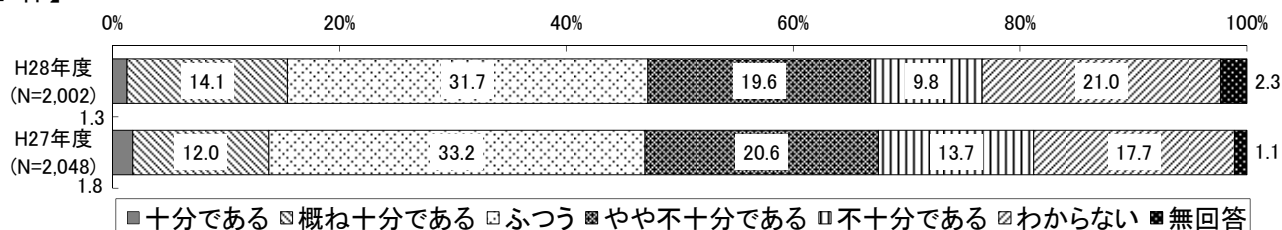
全体では、「十分である」が 1.3%、「概ね十分である」が 14.1%で「ふつう」の 31.7%を合わせると肯定的に感じている人は 47.1%となっている。「不十分である」の 9.8%と「やや不十分である」の 19.6%を合わせて 29.4%の人が不十分であると感じている。「わからない」は 21.0%となっている。

前年度と大きな変化は見られない。

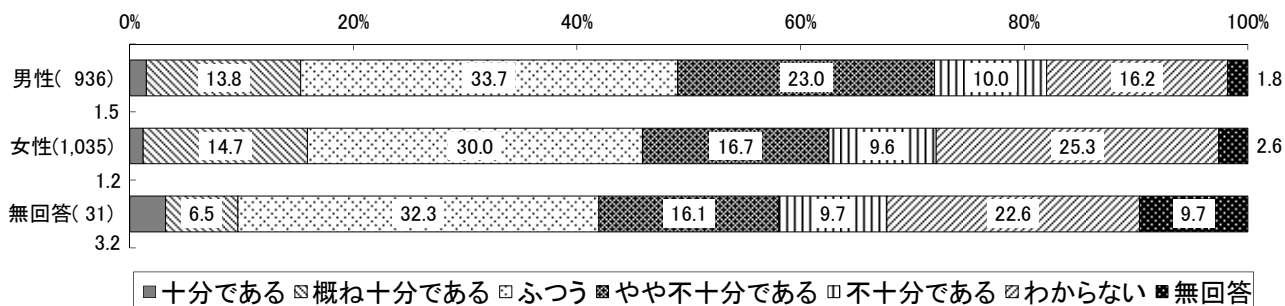
性別では、男性の方が「やや不十分である」の割合が高く、女性の方が「わからない」とする割合が高くなっている。

年代別では、30 歳代では「十分である」が 2.1%、「概ね十分である」が 21.5%と、他の年代に比べ高くなっている。

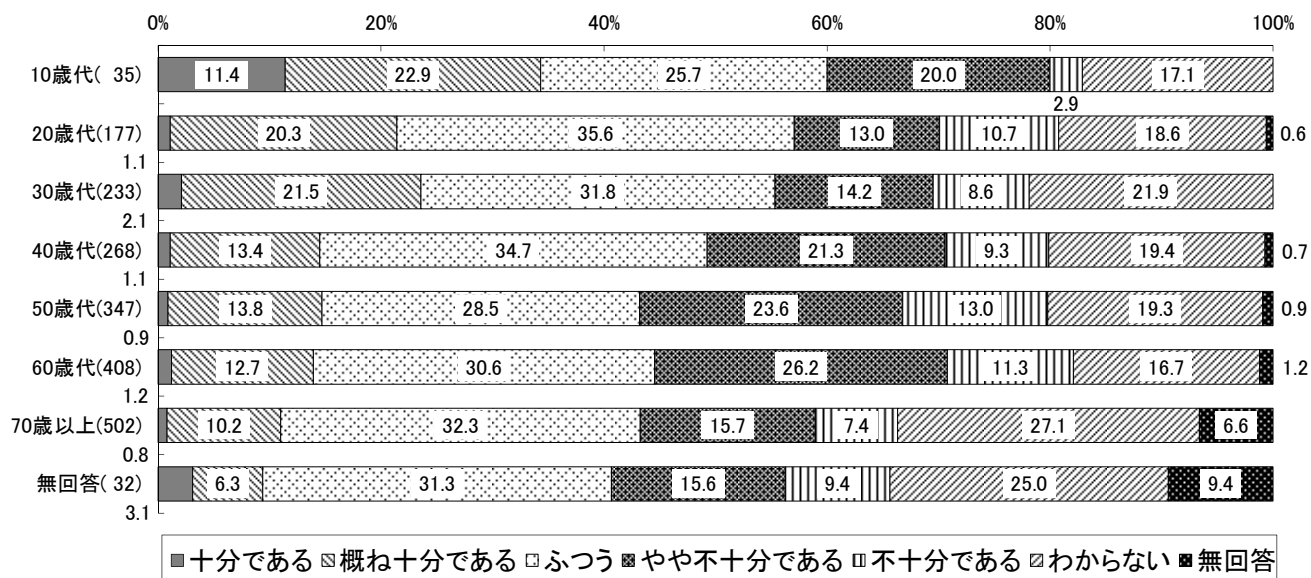
【全体】



【性別】



【年代別】



イ 秋田米を中心とした水田フル活用の推進（質問1-2-2）

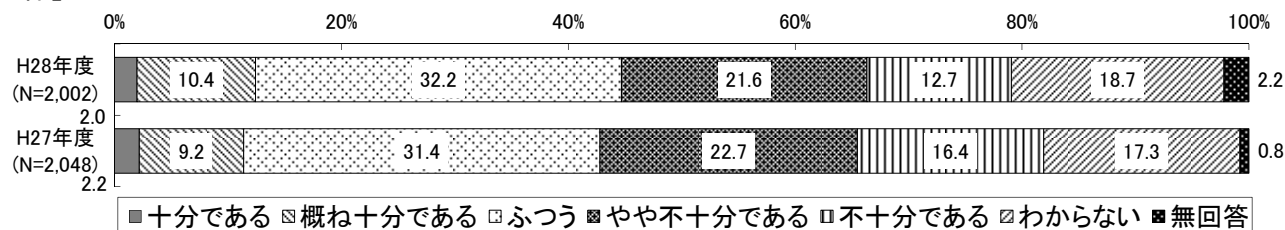
全体では、「十分である」が2.0%、「概ね十分である」が10.4%となり「ふつう」の32.2%を合わせると肯定的に感じている人は44.6%となっている。「不十分である」の12.7%と「やや不十分である」の21.6%を合わせて、34.3%が不十分であると感じている。「わからない」は18.7%となっている。

前年度からは「概ね十分である」が僅かに増加し、「やや不十分である」、「不十分である」が共に減少しており、全体として評価がやや改善している。

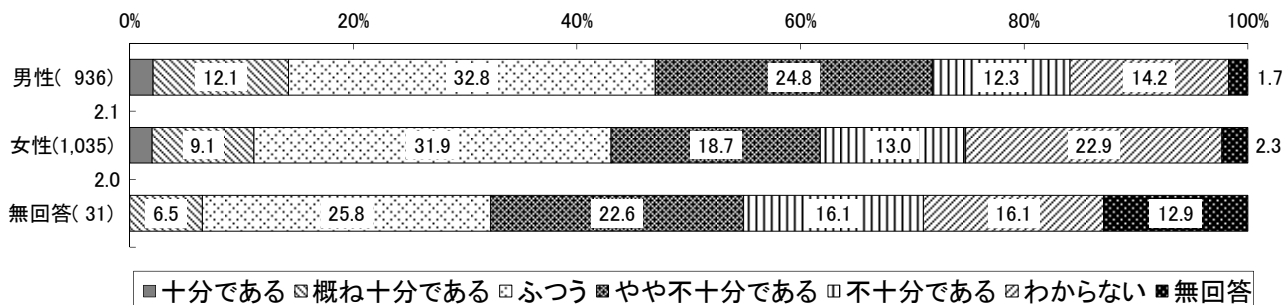
性別では、女性で「わからない」とする回答が多いが、他に大きな差は見られない。

年代別では、40歳代～60歳代で、「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が他の年代に比べ高くなっている。

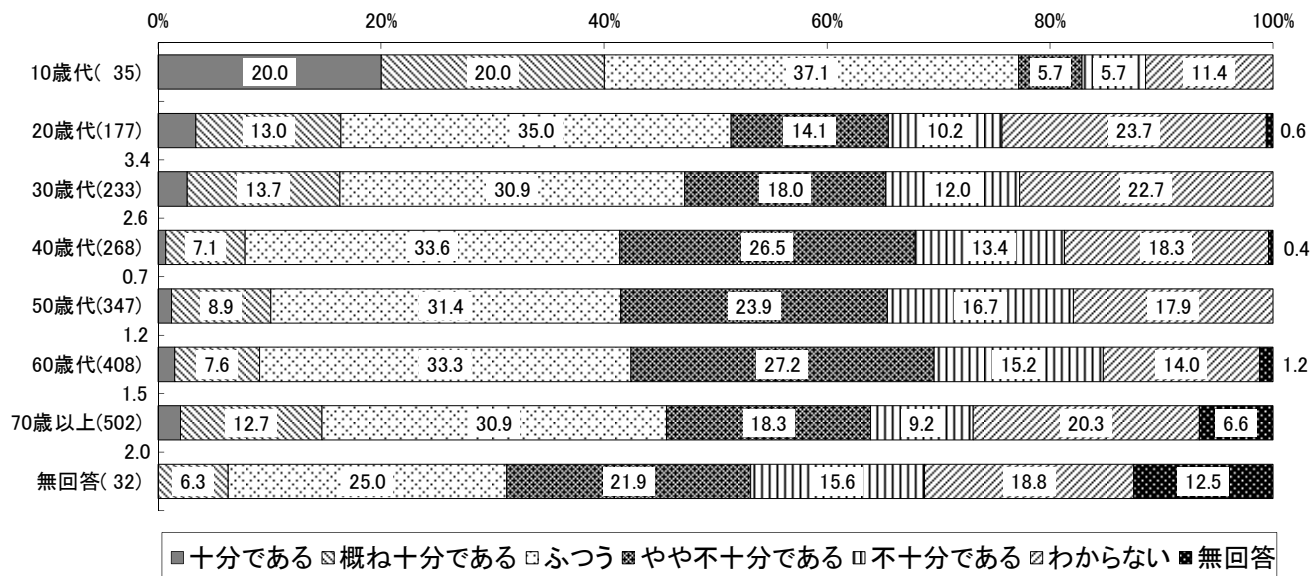
【全体】



【性別】



【年代別】



ウ 付加価値と雇用を生み出す6次産業化の推進（質問1-2-3）

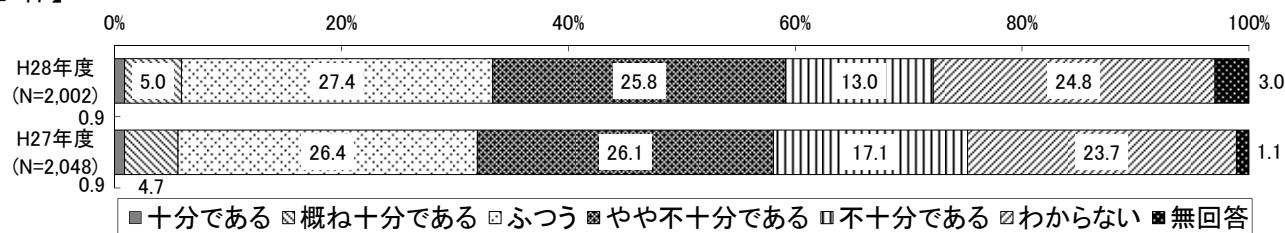
全体では、「十分である」が0.9%、「概ね十分である」が5.0%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の27.4%を合わせると肯定的に感じている人は33.3%となる。「不十分である」の13.0%と「やや不十分である」の25.8%を合わせて38.8%の人が不十分であると感じている。「わからない」は24.8%となっている。

前年度と大きな変化は見られない。

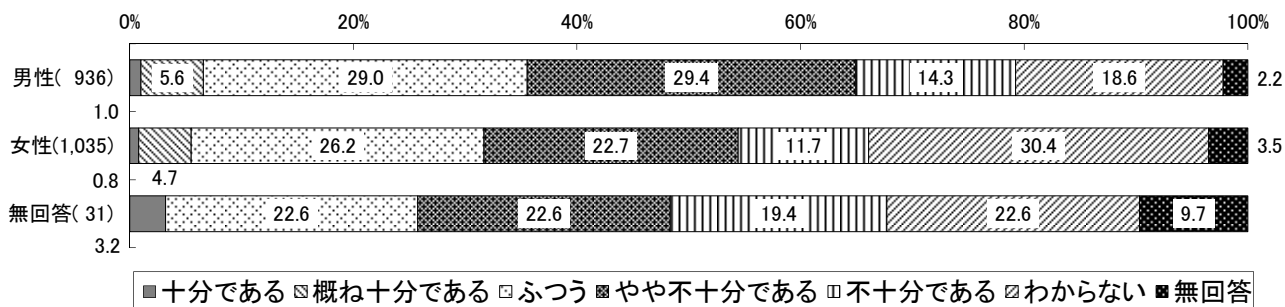
性別では、女性で「わからない」とする割合が3割を超えている。

年代別では、「わからない」とする人が20歳代で30.5%、30歳代で30.9%と、他の年代に比べ高くなっている。

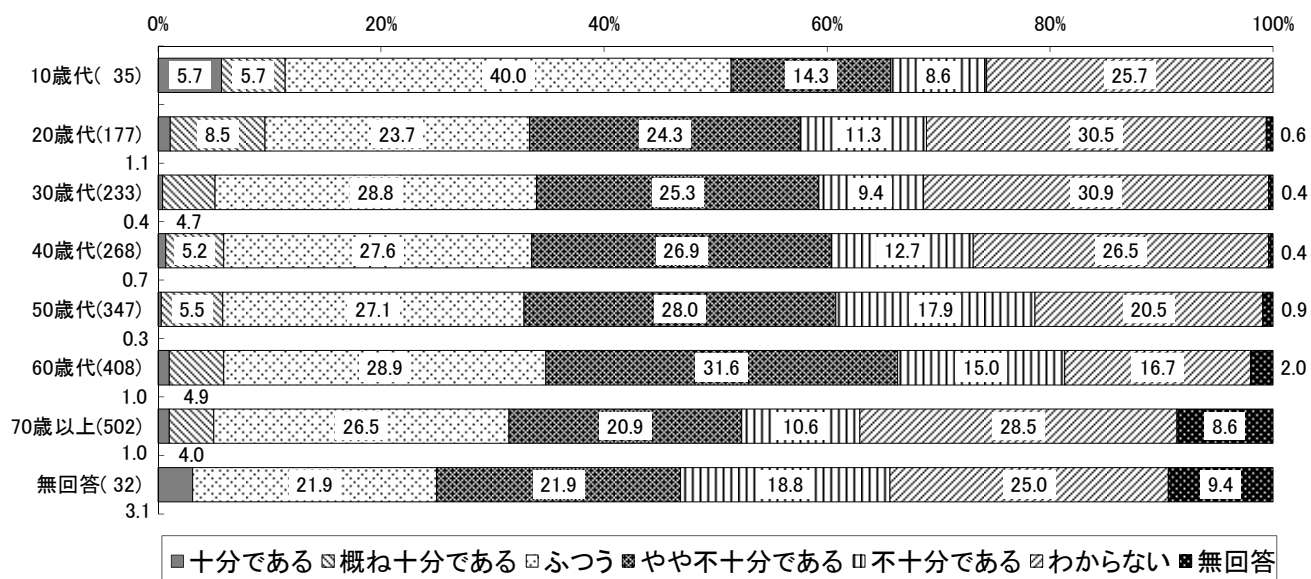
【全体】



【性別】



【年代別】



エ 地域農業を牽引する競争力の高い経営体の育成（質問1-2-4）

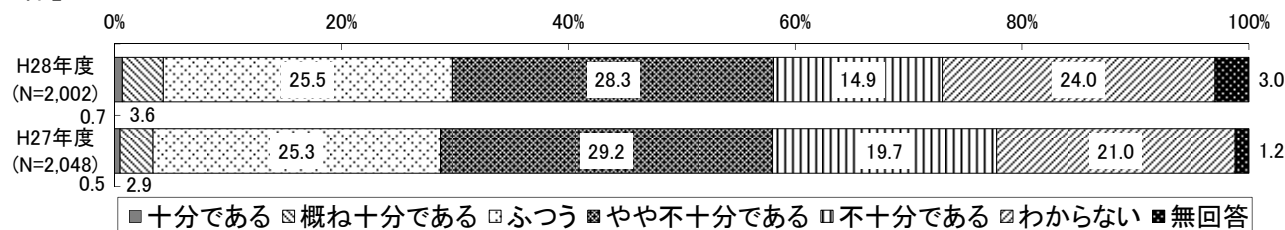
全体では、「十分である」が0.7%、「概ね十分である」が3.6%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の25.5%を合わせると肯定的と感じている人は29.8%となっている。「不十分である」の14.9%と「やや不十分である」の28.3%を合わせて43.2%の人が不十分であると感じている。「わからない」は24.0%となっている。

前年度と大きな変化はみられない。

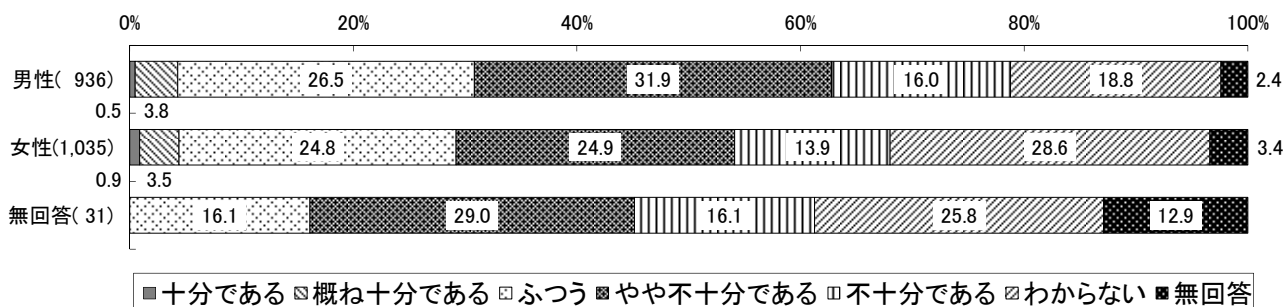
性別では、女性で「わからない」とする割合が高いが、他に大きな差は見られない。

年代別では、50歳代で「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が51.3%と、他の年代に比べ高くなっている。

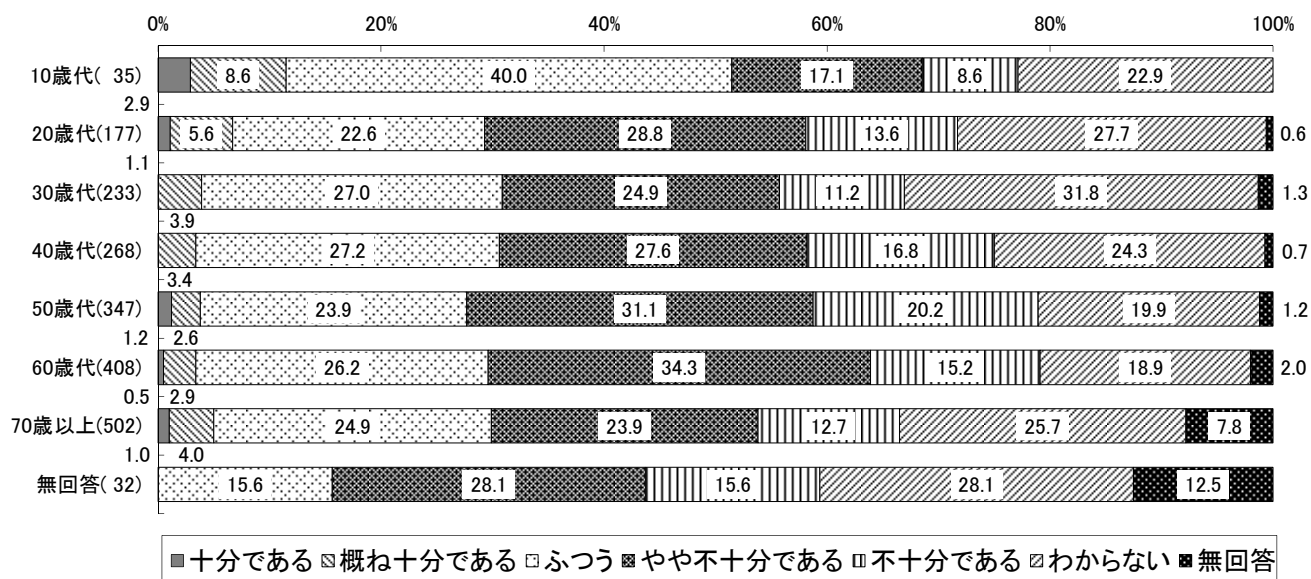
【全体】



【性別】



【年代別】



オ 全国最大級の木材総合加工産地づくりの推進（質問1-2-5）

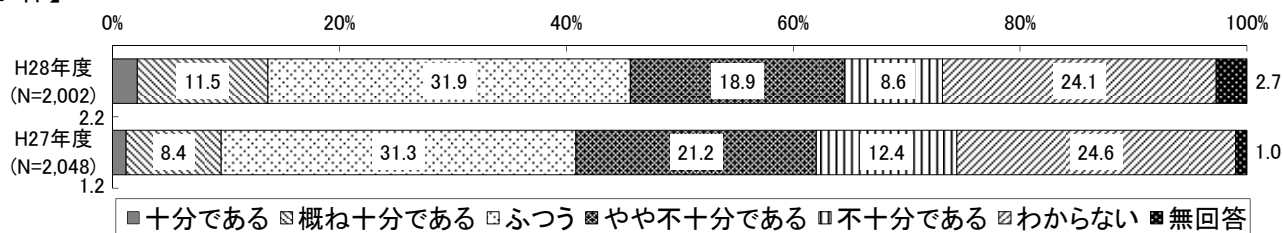
全体では、「十分である」が2.2%、「概ね十分である」が11.5%となり、「ふつう」の31.9%を合わせると肯定的に感じている人は45.6%となる。「不十分である」は8.6%、「やや不十分である」は18.9%となっており、他の取組と比較すると低い値になっている。「わからない」は24.1%となっている。

前年度からは、「十分である」、「概ね十分である」の割合が増え、「やや不十分である」、「不十分である」の割合が減っており、改善がみられる。

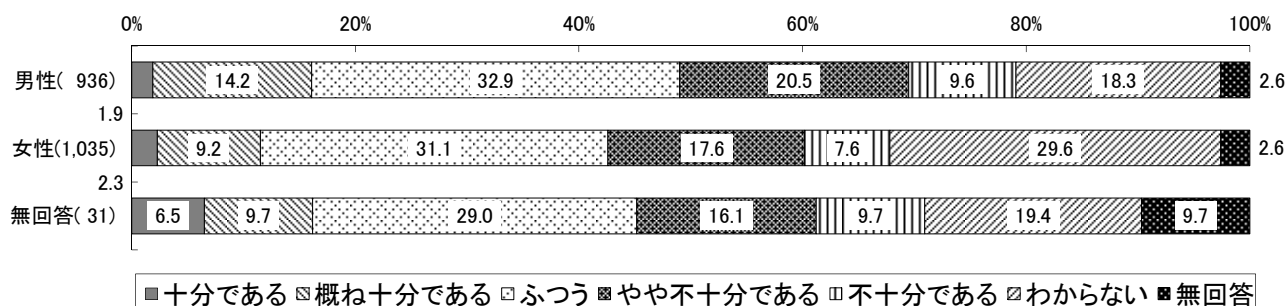
性別では、女性の方が「わからない」とする割合が高い。男性では「概ね十分である」とする割合が高くなっている。

年代別では、50歳代で「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合は36.3%と、他の年代に比べ高くなっている。

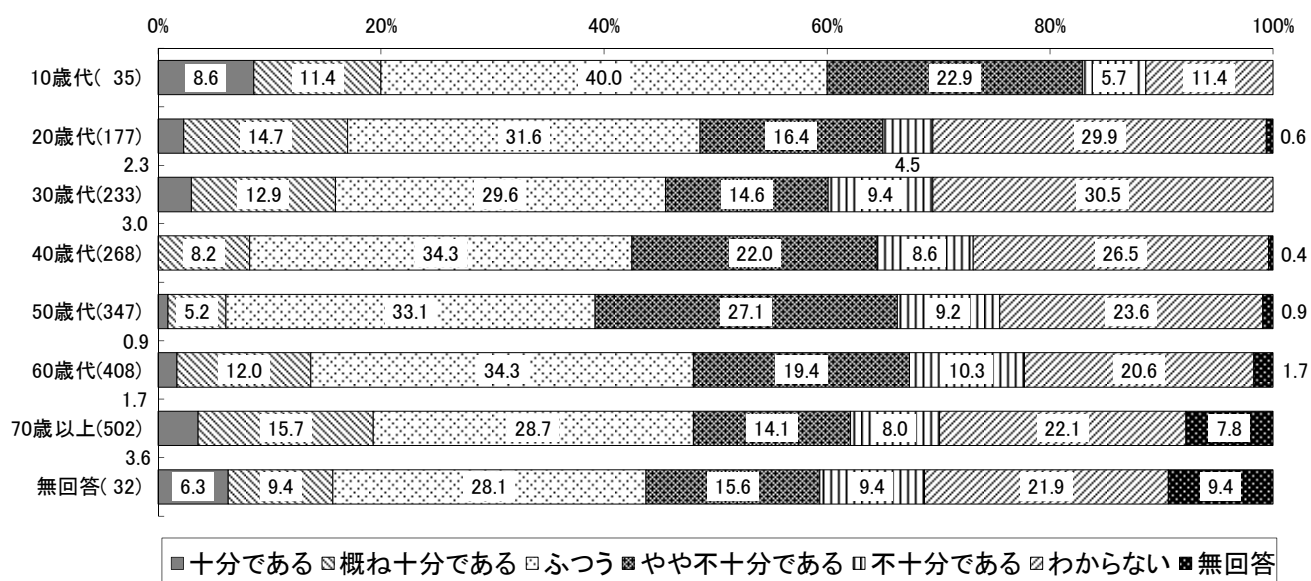
【全体】



【性別】



【年代別】



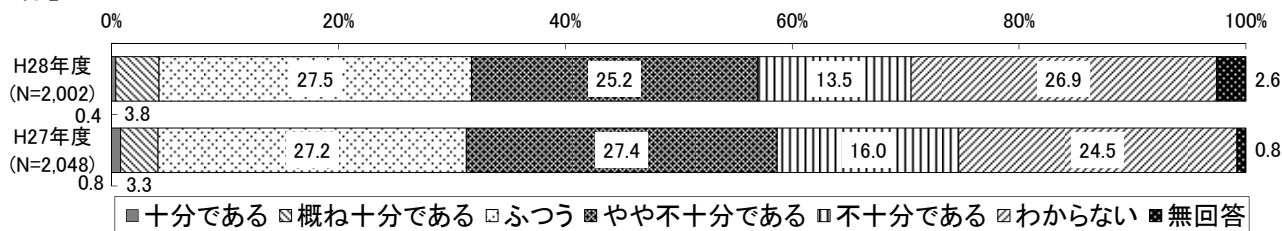
カ 水産物のブランド確立と新たな水産ビジネスの展開（質問1-2-6）

全体では、「十分である」が0.4%、「概ね十分である」が3.8%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の27.5%を合わせると肯定的と感じている人は31.7%となる。「不十分である」の13.5%と「やや不十分である」の25.2%を合わせた38.7%の人が不十分であると感じている。「わからない」は26.9%となっている。

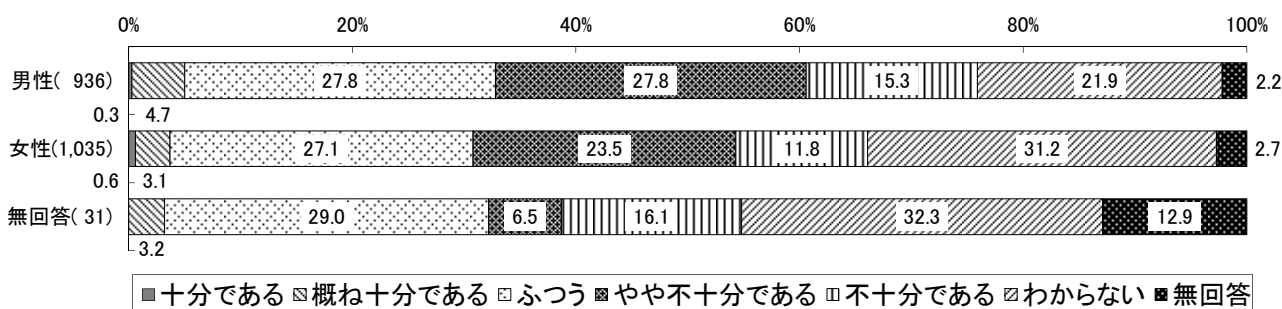
性別では、女性で「わからない」とする割合が3割を超えている。

年代別では、50歳代で他の年代に比べ評価が低く、「やや不十分である」、「不十分である」を合わせると5割を超えている。

【全体】



【性別】



【年代別】

